

(様式第9)

大市大病 号  
平成21年10月 / 日

厚生労働大臣

殿

公立大学法人大阪市  
理事長 金児 暁

大阪市立大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	181.92人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	405人	106.7人	510.2人	看護業務補助	40人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	7人	臨床検査技師	54人
薬剤師	37人	11人	48.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	人
助産師	27人	0.5人	27.5人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	733人	63.1人	839.7人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	人
准看護師	2人	7.3人	9.3人	栄養士	0人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	41人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	46人	その他の職員	47人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	720.6人	一人	720.6人
1日当たり平均外来患者数	2071.5人	一人	2071.5人
1日当たり平均調剤数		1258.0	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齧蝕の修復に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	9人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	4人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限り、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時) に限り) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	1人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input type="radio"/> 有・無	67人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	119人
胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	6人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	86人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	18人
・多発性硬化症	40人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	46人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	40人
・全身性エリテマトーデス	272人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	56人	・膿疱性乾癬	11人
・サルコイドーシス	67人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	100人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	154人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	95人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・結節性動脈周囲炎	33人	・混合性結合組織病	35人
・潰瘍性大腸炎	509人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	9人
・ビュルガー病	21人	・網膜色素変性症	23人
・天疱瘡	17人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	56人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	292人	・神経線維腫症	35人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	120人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	29人
・後縦靭帯骨化症	71人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に2回程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	44例	剖検率 20.8 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心不全に対し $\beta$ 遮断薬療法を安全かつ有効に導入するための統合的ゲノム薬理学研究(H18-ファーマコー一般-001)	葎山 稔	循環器病態内科学	5,000,000	補 委 厚生労働 科学研究費補助金 創薬基盤推進研究 事業
血液酸化ストレスマーカーと画像診断による心筋梗塞・脳梗塞発症予知に関する研究	江原 省一	循環器病態内科学	1,800,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
慢性心不全におけるthrombospondinの $\beta$ ・断薬反応性への関与と機序	竹本 恭彦	循環器病態内科学	1,500,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
アンジオポエチンを介する血管新生の分子機構の解明とその喘息治療への応用	金澤 博	内科学第1(呼吸器)	1,300,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
非小細胞肺癌患者における血中遊離DNAを用いた治療効果予測の検討	木村 達郎	内科学第2(呼吸器)	1,300,000	補 委 文部科学省 若手研究(B)
副甲状腺細胞内における副甲状腺ホルモン断片化調節機構の研究	稲葉雅章	生活習慣病・糖尿病センター	1,100,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
終末糖化産物受容体及びその可溶性受容体を標的とした肥満・動脈硬化の制御	小山英則	生活習慣病・糖尿病センター	2,200,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
メタボリックシンドロームにおける頸動脈硬化症の2元的特性に関する臨床的意義の確立	絵本正憲	生活習慣病・糖尿病センター	1,100,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
副甲状腺の腫瘍化機構とカルシウム感受容体の意義	今西康雄	生活習慣病・糖尿病センター	1,700,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
ナノスキャホールドによる高有効性・低侵襲性ハイブリッド型血管新生療法の開発	福本真也	生活習慣病・糖尿病センター	1,700,000	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
難治性足潰瘍モデル動物の作成とその治療促進機序の解明	田中新二	生活習慣病・糖尿病センター	1,500,000	補 委 財団法人 大坂難病研究財団
炎症性腸炎疾患における腸管上皮細胞間接着蛋白の研究	押谷 伸英	消化器内科	1,300,000円	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
アラキドン酸代謝からみたバレット食道・腺癌発生過程の分子機構の解明	藤原 靖弘	消化器内科	500,000円	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
消化管苦味受容体からの求心性シグナルの脳内分子イメージングと消化管生理機能解析	富永 和作	消化器内科	1,100,000円	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
プロスタグランジンの輸送・代謝機構からの胃癌の病態生理の解明	渡邊 俊雄	消化器内科	700,000円	補 委 文部科学省 基盤研究(C)
上皮-間充織形質転換の観点から見た消化器疾患におけるプロスタグランジンの意義	谷川 徹也	消化器内科	600,000円	補 委 文部科学省 若手研究(B)



シングルバルーン小腸内視鏡外来検査によるInfliximabのクローン病小腸病変に対する内視鏡的有効性および予後に関する検討	渡辺 憲治	消化器内科	500,000円	補 委	財団法人 内視鏡医学研究振興 財団 平成20年度 研究助成(B)
インターフェロンの抗肝線維化分子機構の 解明とその応用	河田則文	肝胆膵病態内科/ 輸血部兼務	22,425,000	補 委	厚生労働省 肝炎等克服緊急 対策研究事業
消化管癒着・線維形成過程の分子構築解 析・制御法開発と腸管星細胞探索の試み	河田則文	肝胆膵病態内科/ 輸血部兼務	400,000	補 委	文部科学省 基盤研究(B)
ATL発症高危険群の長期追跡と発病予防 の検討	高 起良 (分担研究者)	血液腫瘍制御学	1,000,000	補 委	文部科学省 特定領域研究
造血幹細胞移植治療の合併症の評価と克 服に関する研究	日野雅之	血液腫瘍制御学	1,560,000	補 委	文部科学省 基盤研究(C)
治療関連合併症を減少させて同種造血幹 細胞移植後の生存率の向上を目指す標準 的治療法の開発研究	日野雅之 (分担研究者)	血液腫瘍制御学	1,000,000	補 委	厚生労働省 がん臨床研究事業
同種末梢造血幹細胞移植を非血縁者間で行 う場合等の医学、医療、社会的基盤に関す る研究	日野雅之 (分担研究者)	血液腫瘍制御学	800,000	補 委	厚生労働省 免疫アレルギー疾患等 予防・治療研究事業
軽度認知障害の、推定背景病理に基づく、 最適認知症進展予防法の開発	嶋田裕之	老年内科神経内科	800,000	補 委	厚生労働省
認知症の根絶に向けた研究拠点づくりを目 指した総合研究	三木隆己	老年内科神経内科	2,500,000	補 委	大阪市立大学
早期認知症患者におけるアミロイドペット検 査の臨床的有用性の検討	三木 隆己	老年科・神経内科	2,800,000	補 委	文部科学省 基盤研究(B)
現行マススクリーニングの問題解決に関す る研究	新宅 治夫	小児科・新生児科	200,000	補 委	厚生労働省
マイクロペットを用いた低酸素性虚血性脳 症の病態解明と治療法に関する研究	新宅 治夫	小児科・新生児科	1,900,000	補 委	文部科学省 基盤研究(C)
先天代謝異常症の診断ネットワークを介し た長期予後追跡システムの構築	新宅 治夫	小児科・新生児科	1,000,000	補 委	成育医療 (国立成育センター)
乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした 保健指導の実践および評価手法に関する 調査研究	新宅 治夫	小児科・新生児科	10,000,000	補 委	独立行政法人・環境再 生保全機構
タンデムマスによるマススクリーニングの効 果に関する研究	岡野 善行	小児科・新生児科	100,000	補 委	厚生労働省
アジアにおけるシトリン欠損症の診断と治 療	岡野 善行	小児科・新生児科	500,000	補 委	日本学術振興会・アジア・ アフリカ学術基盤形成事 業
ヒトフェニルアラニン水酸化酵素のin vivoで の発現と制御機構の解明	岡野 善行	小児科・新生児科	600,000	補 委	森永奉仕会
4発達期に発症する外因性脳障害の治療・ 診断予防のための実証的研究とガイドラ インの作成。新生児けいれんの診療ガイド ライン作成	山野 恒一	小児科・新生児科	1,200,000	補 委	厚労省精神・神経疾患 研究委託持病(18指- 4)

ライソゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究(衛藤班)	田中 あけみ	小児科・新生児科	1,500,000	補委	厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
新しい新生児マススクリーニング体制の検討(山口班)	田中 あけみ	小児科・新生児科	150,000	補委	厚生労働省 子ども家庭総合研究事業
新規治療法が開発された小児希少難病の疫学調査と長期フォローアップ体制の確立(奥山班)	田中 あけみ	小児科・新生児科	2,000,000	補委	厚生労働省 医療技術実用化 総合研究事業
グルタミト脱水素酵素異常による高アンモニア血症の発症機構の解明と治療法の開発	岡野 善行	小児科・新生児科	1,600,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
遺伝性神経疾患における細胞治療の長期効果に対する免疫関与に関する研究	田中 あけみ	小児科・新生児科	2,000,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
小児医療現場の医療保育・就学前プログラムの開発 ー円滑な社会復帰を目指してー	山口 悦子	小児科・新生児科	100,000	補委	文部科学省 萌芽研究 (分担研究)
摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する総合的研究	切池信夫	神経精神医学	140,000	補委	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費(20-2)
職場ストレス、抑うつ度の把握と性格傾向に基づいたストレス対処方法の開発	井上 幸紀	神経精神医学	1,800,000	補委	文部科学省 基盤研究(B)
学童期の高機能広汎性発達障害児における多動性と不注意	宮脇 大	神経精神医学	700,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
ラミン制御による発毛機構の解明	鶴田大輔	皮膚科学	1,300,000	補委	大阪市
皮膚バリア機能に対する漢方薬の作用機序解明と評価システムの構築	小林 裕美	皮膚科学	800,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
日本人アトピー性皮膚炎におけるフィラグリン遺伝子異常の解析	深井 和吉	皮膚科学	1,300,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
乾癬候補遺伝子としてのEVER1およびEVER2遺伝子多型解析	大霜 智子	皮膚科学	1,300,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	松岡利幸	放射線科	800,000	補委	厚生労働省 医療技術実用化 総合研究事業 (分担研究)
ブタ正常肺及び家兎腫瘍肺モデルのラジオ波凝固時における組織内温度分布の測定	松岡利幸	放射線科	1,600,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
実験腫瘍に対するラジオ波凝固療法後の画像診断による早期治療効果判定の検討	大隈 智尚	放射線科	1,200,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
ヒト脳でのフェリチン・ヘモジデリン分布のMRIにおける標準画像の作成	西口 智一	放射線科	1,500,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
門脈血行異常に関する調査研究	塩見 進	核医学	600,000	補委	厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
大阪市における地域社会特性および生物学的特性に基づいた肝炎医療対策	塩見 進	核医学	700,000	補委	大阪市都市問題研究

アミロイドイメージングを用いたアルツハイマー病の発症・進展予測法の実用化に関する研究	塩見 進	核医学	1,200,000	補委	厚生労働省 長寿科学総合研究事業
F-18フッ化ナトリウムによる甲状腺癌骨転移検査治療効果判定に関する研究	河邊 譲治	核医学	900,000	補委	文部科学省 基盤研究(B)
特発性門脈圧亢進症の病態解析	川村 悦史	核医学	1,300,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
FGF受容体阻害剤およびTGFβ受容体阻害剤を用いた胃癌転移に対する分子標的治療の開発	八代 正和	腫瘍外科(第1外科)	500,000	補委	住友信託銀行公益信託 外科学術研究助成基金
FGF-R2阻害剤およびTGFβ-R阻害剤を用いた胃癌分子標的治療の検討	八代 正和	腫瘍外科(第1外科)	500,000	補委	大阪癌研究会 一般学術研究助成
スキルス胃癌の病態と分子標的治療	平川 弘聖	腫瘍外科(第1外科)	1,500,000	補委	文部科学省 基盤研究(B)
VEGF受容体およびPDGF受容体をターゲットとした大腸癌の分子標的治療	山田 靖哉	腫瘍外科(第1外科)	1,300,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
スキルス胃癌に対する分子標的治療薬の開発および抗癌剤との併用効果の検討	八代 正和	腫瘍外科(第1外科)	1,500,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
分子標的治療薬TGFβ阻害剤の樹状細胞による胃癌ワクチン療法への応用	田中 浩明	消化器外科(第1外科)	1,400,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
多面的な分子生物学的解析による非B非C型肝炎細胞癌発癌機構の解明と臨床応用	久保 正二	第2外科	1,100,000	補委	文部科学省 基盤研究(C)
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	高岡 邦夫	整形外科	1,400,000	補委	厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
骨形成制御の細胞内シグナル伝達系におけるクロストークの解明と骨再生への応用	小池 達也	整形外科	3,600,000	補委	文部科学省 基盤研究(B)
コラーゲン誘発関節炎の発症進展へのレプチン抵抗性の関与	小池 達也	整形外科	1,600,000	補委	文部科学省 萌芽研究
BMPを用いた組織学的半月板再建術の開発	星 学	整形外科	1,600,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
骨再生能を制御する分子メカニズムに関する研究	松村 昭	整形外科	1,400,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
成長軟骨疾患の病因解明を目指した基礎的アプローチ	今井 祐記	整形外科	1,800,000	補委	文部科学省 若手研究(B)
骨と靭帯結合部(エンテシス)の再生技術確立と臨床応用	鈴木 亨暢	整形外科	1,300,000	補委	文部科学省 若手研究(スタートアップ)
骨形成蛋白と新しい薬物遺伝系を用いた脊椎棘突起間固定術	豊田 宏光	整形外科	1,340,000	補委	文部科学省 若手研究(スタートアップ)
BMPと吸収性生体材料による骨再生	高岡 邦夫	整形外科	5,000,000	補委	財団法人 上原記念生命科学財団
再生・細胞医療の世界標準品質を確立する治療法および培養システムの研究開発	脇谷 滋之	整形外科	13,459,000	補委	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

コラーゲン誘発関節炎の発症進展へのレプチン抵抗性の関与	小池 達也	リハビリテーション部	1,600,000	補 委	文部科学省 挑戦的萌芽研究
骨形成制御の細胞内シグナル伝達系におけるクロストークの解明と骨再生への応用	小池 達也	リハビリテーション部	4,680,000	補 委	文部科学省 基盤研究(B)
コラーゲン食品の膝関節痛に対する効果の検討	小池 達也	リハビリテーション部	30,000,000	補 委	キューサイ株式会社
ヒッププロテクターの開発に関する研究	小池 達也	リハビリテーション部	600,000	補 委	ユニチャーム
尿路結石症におけるCKDの検討	長沼 俊秀	泌尿器科	100,000	補 委	日本尿路結石症学会 奨励賞
前立腺癌機序における活性酸素の役割と関連遺伝子多型の解析	井口 太郎	泌尿器科	1,000,000	補 委	大阪難病財団
卵巣癌腹膜播種機構の解明	吉田 裕之	女性診療科学	800,000	補 委	文部科学省 若手研究(B)
難治性疼痛治療の新しいアプローチ、ミクログリアP2X4受容体機能と発現の検討	森 隆	麻酔・集中治療医学	700,000	補 委	文部科学省 基盤研究(C)
ニューロパシックペインにおける交感神経・断の分子生物学的意義	西川 精宣	麻酔・集中治療医学	800,000	補 委	文部科学省 基盤研究(C)
麻酔薬の作用発現調節機構-脳内薬物動態と脳波、交感神経受容体との関連	小田 裕	麻酔・集中治療医学	1,500,000	補 委	文部科学省 基盤研究(C)
電気痙攣療法による疼痛緩和メカニズムの解明-神経因性疼痛治療への応用に向けて	長谷 一郎	麻酔・集中治療医学	700,000	補 委	文部科学省 若手研究(B)
帯状疱疹後神経痛に伴う脳内モノアミン動態の解明-難治性疼痛の治療に向けて	舟尾 友晴	麻酔・集中治療医学	900,000	補 委	文部科学省 若手研究(B)
中枢性疼痛の発現機序-脳内交感神経受容体との関連の解明、治療への応用に向けて	高橋 陵太	麻酔・集中治療医学	1,300,000	補 委	文部科学省 若手研究(B)

小計13

計86

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。